



くすのき

ナマスデ

नमस्ते (ネパール語で「こんにちは」)



特定技能でネパールから来日したお二人を歓迎
らいにち ふたり かんげい

第53号 contents

- 新理事長 井澤勝明理事長就任のご挨拶…………… 2
- 令和6年 能登半島地震派遣報告…………… 3
- 各施設だより…………… 4～10
- 新任・退職者紹介…………… 11
- 各施設寄付物品及びボランティア・編集後記…………… 12

理事長就任のご挨拶

社会福祉法人
くすの木福祉事業会

理事長 井澤 勝明

初めまして。井澤勝明と申します。平素より当法人の運営につきましましては、関係各位の皆様からのご理解、ご支援を頂き誠にありがとうございます。このたび、6月の理事会におきまして、生駒吉昭前理事長の後任として、新たに理事長にご推挙いただきました。よろしくお願い申し上げます。私は蒲郡市役所に45年間奉職し、昨年3月に退職いたしました。この間、副市長を6年間務め、最後には、ボートレース蒲郡の最高財務責任者として2年間の経験を積んでまいりました。ボートレース蒲郡は、蒲郡市が経営している競艇場であり、そこでの経営経験が私にとって大きな財産となっております。

市役所においては、福祉課にて、障害者福祉の担当を経験したこともございますが、基本的には社会福祉法人とは無縁でありました。そのため、多少の不安も感じておりますが、蒲郡市政の運営やボートレース蒲郡での経営で培った経験が、くすの木福祉事業会の発展に寄与できると信じております。保護者の皆様、役員の皆様、職員の皆様

の、ご支援を賜りながら、全力を尽くしてまいりたいと考えております。

さて、当法人が直面しているいくつかの課題についてお話しさせていただきます。まず、利用者の皆様に最も身近で必要な職員の不足という問題があります。これは障害者福祉のみならず、高齢者福祉や児童福祉においても共通の課題です。当法人だけで職員の勤務条件を改善しようとする、法人の持続的な経営に支障をきたす恐れがあり、非常に難しい舵取りが求められると予想されます。

次に、つつじ寮を始め、老朽化した施設の大規模改修または建替えの問題です。つつじ寮は昭和58年に事業を開始し、すでに41年が経過しております。その間、職員の皆様の努力により、さまざまな改修を行ってきましたが、建物の基本的な構造には限界があり、改修にも限度があります。この問題を先送りすることなく、解決に向けて積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、利用者の皆様がいままで生き生きと暮らしていけるように、また、保護者ならびに地域の皆様がその様子を安心して見守り続けることができるよう、法人理念である「地域の中で愛される」「共に生きる」を大切にした法人運営を目指していけるよう、全力を尽くしてまいります。変わらぬご愛顧、ご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

退任のご挨拶

前理事長 生駒 吉昭

この度、6月12日の定時評議員会をもちまして、社会福祉法人くすの木福祉事業会理事長を退任いたしました。在任期間中は、利用者・保護者の皆様をはじめ、地域及び各関係者の皆様、そして、職員スタッフに支えられてここまで来ることが出来ました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

思い起こせば、私と法人との関わりは、障害者を持つ子の親として、蒲郡手をつなぐ育成会の会長となつたことが縁で、平成14年5月に当法人の理事の一員となりました。初代 市川理事長、二代目 森理事長、三代目 杉浦理事長をお支えし、平成26年1月には四代目理事長として責任ある立場を任せていただけることとなりました。理事長就任以降の10年間は、地域とのつながりを大切にした法人運営を引き継ぎ、交流行事・地域公益への取り組み実施、グループホーム50名構想の達成など、様々な目標に挑戦してきました。中でも行事や旅行などを通して、皆様と共に語り合った言葉や、あふれる笑顔の数々が今でも記憶に鮮明に残っています。

これからも、いち保護者として、また皆さまの良き相談役として事業会を盛り上げてまいります。今後とも皆様との絆が変わらず続くことを願いますとともに、法人のますますの発展と皆様のご健勝を心より祈念いたします。

令和6年 能登半島地震派遣報告

2つの災害派遣を通して

サポートくすの木 施設長 村崎 正明

1月、能登半島地震の発生に伴う社会福祉施設・避難所等に対する介護職員等派遣要請（厚生労働省）に応じて、1月15日～1月20日の期間、石川県金沢市内に開設された金沢市スポーツセンター1・5次避難所へ派遣されました。担当場所となった体育館内には、227張（2人用テント）が並び、最大収容人員454名の大型の避難所でした。



1・5次避難所へは、介護職派遣としては全国で1番乗りでしたが、混乱する現地にはその情報がかたしか伝わっておらず、派遣される介護職についての細かな運用は決まっていませんでした。現場は慌ただしく、全国から多種多様の災害派遣チームが休む間もなく活動をしていました。

輪島市、珠洲市、能登町等から避難されてきた避難者の表情や容姿、手荷物がほぼ無い状態から、この1・5避難所に到着するまでの2週間、かなり厳しい状況・ストレス下であったという事は容易に想像出来ました。

目の前に広がるこの光景から、指示待ちではなく「今、自分に出来る事は何か」と自問自答し、まずは自ら動けと避難者への声掛けから始めました。そ

れに平行して時間を追う毎に、全国から派遣職員が増えていく中、個々での行動ではなく統制されたチームの形成が急務と感じ、活動の方法や内容を模索しながら指示を出しているうちにリーダー的な存在となりました。3日目には8時～20時が日勤、20時～8時が夜勤とした12時間交代勤務の24時間体制を確立し夜勤リーダーも作りました。こうした初動の構築により、全国から日々入れ替わる介護職員が戸惑うことなくその都度コミュニケーションを密に図り、連絡・調整・申し送りが明確化され、1チームとしての結束、他チームとの連携が図れる体制が整っていききました。

介護職派遣チームの主な活動の内容は、排泄介助、シャワー浴、移乗介助、食事介助、衣類着脱介助、傾聴、見守り等でした。

緊張感と疲労がピークに感じる4日目、スタッフにも炊出しの肉うどんが振舞われました。その温かさ、そこに意図とする人の暖かさに涙が溢れ止まりませんでした。5日目にはリーダーを引き継いで被災者支援に12時間没頭、6日目の午後、5泊させて頂いた避難所内の寝床を清掃し活動を終えました。

2月、愛知災害派遣福祉チーム（愛知DCAT）としての派遣要請に応じて、2月11日～15日、最大震度7を記録した地域、石川県志賀町の富来活性化センター（避難者約160名）に派遣されました。他法人の施設職員3名でチームを組み、愛知DCAT第6班として、更に現地では滋賀県から派遣されたDWCATチーム第9班3名との合同で活動を行いました。宿泊拠点（金沢市）から片道80キロを毎日通い、避難所内での相談対応、要配慮者のニーズ把握、必要な支援と他分野チームへの被災者二

ズを繋げるパイプ役、更にこの拠点以外の自主避難所5カ所の巡回と多岐に渡りました。1・5次避難所の時とは異なり、発災から1カ月半経過している事、避難者が地元の方々という事で比較的稳定な生活を送っていたが、断水状態で感染症も大流行する中での活動でした。

2つの活動を通して、全国から集まった福祉職の仲間が、物資不足・情報不足・スタッフ不足等の限られた環境の中でも、使命感・責任感・協調性を持ち、被災された方々に最大限尽くす姿勢に、この「福祉」という仕事の本質と誇りを感じました。

また、被災者からの「ありがとう」という言葉、流される涙、手を合わせて感謝される都度、感情が高まりましたが、笑顔で感情を抑え、心の中では私の方が支えられた気持ちで感謝していました。

さて、昨今の災害は大型化・多様化しています。防災・減災の取組は特別な事ではなく、日常生活の延長上にあると思います。各々の自助力を高め、共助力を日頃から構築しておくことが「備え」「初動」を大きく変え、訓練を繰り返す経験が被害・想定外を最小限に抑えることに繋げられる最大の力になると思います。

「準備は今、この瞬間がチャンス」

最後に、全国から駆け付けた様々な役割を持った災害派遣チームの方々との出会い・姿に感謝し、共に一つになれた事に感謝します。

被災された方々ならびに被災された地域の一日も早い復興と平穏な日々をお祈り申し上げます。



いちご狩り

いちご狩り



4月18日、過ぎやすい薄曇りのなか田原市のお陽様農園にいちご狩りに行ってきました。

高設栽培で胸位の丁度良い高さに垂れ落ちていた。車椅子の利用者さんも自らいちごを摘んで、楽しみながらいただきました。

つやつやの美味しい苺を一口でべろり。笑顔たつぷり満喫しました。

車中では渥美半島の海など、日頃みられない景色を堪能し、久々の外食ランチも嬉しそうに完食しました。



グルメドライブ

4月26日、渥美半島にドライブに行きました。

車内では渥美半島の海を眺めていました。昼食の道の駅で海鮮丼やおろし蕎麦など好きなものを注文しました。器に盛られた料理をペロリと平らげた後は恋路ヶ浜まで歩きました。サンテパルク田原にも行き、いろんな花を見ながら歩いた後、アイスクリームやフランクフルトなど様々なものを食べました。施設の外ならではの食を堪能しました。



TSUZU
YO
じ寮



「つつじの庭」を 発行しています

令和2年度より「つつじの庭」を発行しています。令和2年4月は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、緊急事態宣言が発令されました。これを受けて、つつじ寮でも外出自粛の対応を取り、面会も中止となり、外部との接触が大幅に減る事態となりました。そこで、利用者さんの様子

つつじ寮の現状を報告し、ご家族に安心していただくという意図で、「つつじの庭」を発行しました。コロナ禍が収束してからも、「たくさん笑顔を見せてくれる」を合言葉に、現在も発行し続けています。

「つつじの庭」のバックナンバーはHP(くすの木便り)で確認できます。

お楽しみの日

アイスを食べました!!

6月21日にお楽しみの日でサーティワンアイスクリームのアイスを食べました。事前にどのアイスがいいのかアンケートを取っておき、当日、選んでいたアイスが届くと、笑顔を見せながら美味しそうに食べる姿が見られました。最近、気温も高くなってきたため、ゆっくり食べながら、涼む事ができました。



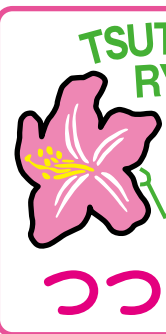
お楽しみの日

4月19日にお楽しみの日を行いました。

今回のお楽しみはフルーツサンドのキッチンカー（フルーツの森白鳥菜さん）に来ていただきました。青空のお天気の中、つつじ寮駐車場に



屋外テラスを特設し、フルーツサンドと飲み物を飲食しました。フワフワなパンにたっぷり入った生クリームとフルーツ、皆さんサンドイッチを口いっぱい頬張り笑顔いっぱい！美味しく頂きました。皆さんあつという間に食べてしまいました。楽しい「お楽しみの日」になりました。



令和6年度 つつじ寮自治会の 会長と副会長決定 しました!

今年度のつつじ寮自治会会長は鈴木和枝さん、副会長は杉浦敏子さんに決まりました。自治会や様々な行事で挨拶等のお仕事をしています。1年間宜しくお祈り致します。



利用者・保護者・職員懇親会



3月9日(土)、ホテル竹島で2019年以来5年振りに懇親会を開催することができました。普段、なかなか話す機会に恵まれない中、美味しい食べ物に舌鼓を打ちながら、色々な話に花を咲かせました。

せんたく 選択レクリエーションに 行ってきました!

6月～7月にかけて選択レクに行ってきました。各課で少し遠出をして静岡・豊田・常滑の3方面へ出かけ、工場見学や体験を楽しんできました。フライトパークへ行き、近くで大きな飛行機も見ることができました。



令和5年度、1日も休むことなく、サポートくすの木に通われた13名の方の表彰式が行われました。おめでとうございます。

令和5年度皆勤賞

ちゅうぶ 中部みらい市2024

吹上ホールに6月14日と15日「中部みらい市2024」に出展させていただきました。



今年はみらい工房ブースという体験コーナーの増設に伴い、来場者プレゼントのクッキーを300個ご注文いただきました。また、スーパーボールすくい・ハーバリウムボールペン作り・立体塗り絵等の趣向をこらした体験コーナーで、皆さん楽しそうに作っていました。

寄贈ありがとうございました

東愛知日産自動車株式会社 蒲郡店様

店舗リフォームのため、椅子とテーブルを頂きました。椅子は食堂の丸椅子と交換し、テーブルは作業机として活用しています。



兼子直久様

ご寄付を頂戴し、2階男女更衣室にパーテーション2台を設置しました。廊下からの目隠しとなり、着替えや休憩時間をゆつくり過ごせています。



有限会社 蒲郡園芸ガーデン様

花苗をたくさん頂き、花壇やプランターに利用者と一緒に植えました。



新メンバー紹介

令和6年3月よりサポートくすの木に新しい仲間がやってきました。

岩下智哉さん

委託作業課にて、段ボールの組立て作業を行っています。



佐藤晴生さん

元気班にて、体力活動とソケット入れ作業を行っています。



サポート

令和6年度自治会役員

井上 明彦さん(右)

小笠原康真さん(真ん中)

杉浦久美子さん(左)

選挙により、本年度の自治会役員が決まりました。1年間頑張りますので宜しくお願いします。



職員紹介

小豆澤朱実 (生活支援員)

安全に、楽しく、やりがいあるよう心掛けています。



神藤正則 (生活支援員)

サポートくすの木に入職して、3年目になります。木工課で利用者の成長を楽しみにしながら、積み木BOX・キッズチェアなどの製品を作っています。



林 恵美 (生活支援員)

地域の皆様に喜んで頂けるような製品作りを心掛けて、頑張りたいと思います。



ぜんたい 全体レク 竹島水族館



リニユーアルした竹島水族館では、三河湾の魚以外にもカワウソや亀があり、皆さん興味津々で見っていました。昼食は事前に選んでもらった場所に移動し、美味しいご飯を堪能してきました!!

6月21日に全体レクに出かけました。場所は4月にリニユーアルオープンした竹島水族館です。この日は生憎の雨でしたが、利用者はとても楽しみにしており、皆さん登所時から「今日は出かけるね」「楽しみだね」と話していました。



食
塚
つか



全職員が2グループに分かれ警察署の方による防犯講話、さすまたを使用した実技講習、護身術を教えて頂き、とても有意義なものになりました。警察署の方も訓練は続けることが大事と言われていたので今後も定期的にこのような訓練を行えたらと思っています。



防犯講習会

1月18日



令和5年12月27日、愛知県共同募金会様の助成により購入した「ダイハツ タント」がわくわくワーク大塚に納入されました。昨年秋季より、送迎をする利用者が増え、2往復していたところ、送迎車が増えたことで、往復することなく送迎できるようになりました。今後、事故等に気をつけ、安全に送迎するように努めていきます。愛知県共同募金会様、本当にありがとうございました。

送迎車
ダイハツ
タント
が来ました!!



3月29日、東三河ふるさと公園・蒲郡中央公園・ドライブ（幸田方面）の3ヶ所に分かれてお花見へ行きました。今年は例年より桜の開花が遅く、ほとんど咲いていない状況でしたが、散歩やドライブをして楽しみました。昼食は「さんかい」「丸美」「好きなものをテイクアウト」の3ヶ所に分かれて食べました。自分で選んだご飯を美味しく食べていました。

お花見に
行ってきました



大
おお



前列左から…平野有佳里さん
三羽希理子さん
後列左から…今泉 正樹さん
清水 孝亮さん
近藤 勇一さん



令和5年度、一日もお休みすることなくわくわくワーク大塚に通われた方たちに、賞状とはるか特製クッキーを贈呈しました。今回は5名の方たちが受賞されました。これからも元気に通ってくださいね！

令和5年度 皆勤賞授賞式

選挙により、本年度の自治会役員が決まりました。利用者の代表として来訪者へのプレゼントの贈呈や誕生日会の司会など、頑張っていました！



左から
会長 今泉 正樹さん
副会長 鈴木 綾子さん

令和6年度 自治会役員決定

日帰り旅行

日帰り旅行に行ってきました。
令和6年2月。GHとしては、4年ぶりの旅行♪
コースは碧南海浜水族館、魚太郎半田店でのランチ、
南知多でいちご狩り!!

グループホームだより



かるみあ1F ● 世話人紹介

世話人さんに聞いてみました!!

「私は〇〇が好き!」

- 70歳から勤めさせていただき、もう10年です。
毎日楽しく働いています。 久永世話人さん
お花が好き。特に紫陽花。花言葉は和気あい
あい・仲良しです。

- かるみあの世話人になって10年。
鈴木世話人さん
サウナが好き。コロナ禍で行かなくなってし
まったけど、汗をかけた後の爽快感は最高です!

- 平日は障がい児通所施設に勤めています。

渡邊世話人さん

好きなものはジオラマやミニチュア! 1日中
眺めている自信があります。どこかでジオラマ
を眺めている40代女性がいたら私かもしれません。
温かい目で見ていただけたら幸いです。

- 気持ちよく仕事しています。

吉見世話人さん

皆さんのおかげです。
実はカラオケが好きです。ホームから歌声が
聞こえたら私です。

- かるみあで一番元気! 陽気な

ソフィア世話人さん

ブラジルのお肉「シュラスコ」が好きです。シュ
ラスコ知っていますか? ぜひ食べてみてください。

新任者紹介



・つじ寮 中野有菜 (生活支援員)



4月からつじ寮で勤務させて頂く事になりました。中野有菜です。

入社して約2ヶ月が経ちましたがまだ慣れないこともたくさんあり、大変だと感じる事もありますが、1日でも早く慣れて貢献できるように精一杯頑張っています。これからよろしくお願いします。

・つじ寮 小野川めぐみ (生活支援員)



6月よりつじ寮でお世話になっております小野川めぐみです。まだ分からないが多いですが、利用者さんの生活が楽しく充実した日々になるような支援を心がけていきたいです。初心を忘れず学ぶ姿勢を大切に頑張っていきたいと思っています。

・つじ寮 アチャリヤ・ナビン (生活支援員)



毎日仕事頑張っています。よろしくお願いします。

・つじ寮 ライ・ヘムチャンドラ (生活支援員)



最初はどんな仕事かと思っていました。難しいですが、慣れてきたら楽しくなってきました。毎日頑張っています。

・サポートくすの木 村井美香 (生活支援員)



この度サポートくすの木に入職しました村井です。利用者さんのちょっとした変化や前ぶれに気付き対応できるよう心がけ精一杯責任をもって支援していきたいと思います。

・グループホーム 竹本奈美子 (事務員)



7月からグループホームで仕事をさせていただきます。いたいています。竹本です。早く仕事を覚え、頑張っていきたいと思っています。

退職者紹介



- ・つじ寮 早川治太郎
- ・つじ寮 平本 匡志
- ・つじ寮 山口 令奈
- ・つじ寮 小久江由美

「くすのき便り」



各事業所の
“あんなこと～こんなこと～”
また法人事業など、
綴っていききたいと思います。

<http://blog.canpan.info/kusu/>



法人のホームページからでもご覧いただけます。

法人3施設、グループホームや活動の紹介など情報が盛りだくさん!!



社会福祉法人くすの木福祉事業会のホームページです。ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.kusunoki-fukushi.jp/> 🔍 検索



困りごとのご相談を受け付けています

障害者サポートセンターすてっぷでは障害福祉サービスに関するを中心に生活の困りごとなどのご相談を受け付けています。障害をお持ちの本人やその家族の方と一緒に今後のことを考えていきたいと思っています。すてっぷで対応が難しかったり、他にもっといい機関がある場合はそちらをご紹介しますので、まずはお気軽にご相談ください。

なお、障害者サポートセンターすてっぷは平成31年4月から精神障害者支援体制加算対象事業所になりました。引き続き、専門知識の習得や支援技術の向上に努めてまいります。

障害者サポートセンターすてっぷ **0533-59-7215**

R5年12月～R6年7月

いつも温かいお心遣い

ありがとうございます。

寄付者ご芳名

● 光田屋株式会社様

● 養円寺様

● 長興寺様

● 敬圓寺様

● 光明寺様

● 社会福祉法人

● 蒲郡市社会福祉協議会様

● 東愛知日産株式会社蒲郡店様

● 蒲郡園芸ガーデン様

● 兼子直久様

● 東海液化ガス株式会社様

● 平松工業株式会社様

● 株式会社 HEXEL Works 様

● イオンリテール株式会社

● イオン蒲郡店様

● 丸福青果食品店様

● つつじ寮保護者会様

● サポートくすの木保護者会様

● 山田朝司様

● 酒井康一様

ボランティア

● つくしんぼ様

● 小林春代様

● 大岡恵津子様

● 廣濱不二代様

● 伊藤裕一様

● 西浦工芸様

● 三戸夏居様

● 岡本晴美様

● NPO 法人ブックパートナー様

● 寿無限の会様

● 遠山恵子様

● 代田中学校 川原泰樹様

● 小島定夫様

麦ストロー
鋭意作製中です。



美しい三河湾を望む「海の街」蒲郡市にあるつつじ寮。

地域における公益的な取組の一環として、海洋プラスチック問題へ少しでも貢献できないかと、令和2年から麦ストローのテスト生産をはじめていきます。

つつじ寮グラウンドに一坪ほどの小さな麦畑をこしらえて、作りやすく、丈も大きくなるライ麦を栽培しています。秋にまいた種は寒い冬を越えて、6月に収穫を迎えます。

乾燥させた麦の皮をはがし、節ごとに切り分けると自然の風合いが見え、目にも心地よい、麦ストローが出来上がります。煮沸消毒を行い衛生面にも配慮をしています。

来季に向けては、皆様のお手元に届くように、栽培面積を増やして量産体制に入れたらよいなあ。



広報くすのき (年2回発行)

■ 発行元

〒443-0013

愛知県蒲郡市大塚町後広畑85番地1

TEL (0533) 59-7221

社会福祉法人 くすの木福祉事業会

■ <https://www.kusunoki-fukushi.jp/>

くすの木福祉事業会

検索

編集後記

コロナ禍から一年が経ち、各施設いろんな行事やレクに行かれていたのを皆様にお伝え出来てうれしいです。編集は大変ですが、いち早く各施設の行事やレクの出来事を知ることができるので楽しいです。

お知らせ

法人現況報告書、事業報告及び決算書は、法人本部またはホームページ上で開示しています。